

いつもお世話になっております。今月分の請求書を送付いたしますので、何卒御査収のほどよろしくお願い申し上げます。

いつもありがとうございます

金環日食に引き続き、部分月食、金星の太陽面通過と天体ショーが続いた6月某日、大阪南港に「ツタンカーメン展」を観に行ってきました。人混みが苦手な私は、「見たいけど、混んでるだろうなあ」と通常ならあっさり断念してしまうのですが、今回は張り切って出かけました。

最終入場時間の少し前なら、多少空いているかもしれないと期待して会場へむかっただのですが、それでも入場は1時間待ちでした。誘導スタッフの方に「きょうは混んでいるほうですか？」と聞いてみたところ、「多い日は5～6時間待ちの日もありますから、きょうはまだマシですよ」とのこと。しかたありません。なにしろエジプトの秘宝がやってきているのです！！

待っている時間もなぜか心は高鳴ります。ようやく入場して最初に出会ったのは花崗岩でできた「ツタンカーメン立像」あまりにも素敵で、思わず目頭があつくなりました。しかし、どんどん押し寄せる人並みが、わたしとツタンカーメンの出会いをあっという間に引き裂きます。これからは「好みの男性は？」と聞かれたら「ツタンカーメン」と答えるかもしれません。

たくさんの展示物の中でも一番興味を惹かれたものは、ツタンカーメンの曾祖父母にあたる方「イウヤ・チュウヤ夫妻」の墓から出土した品物たちです。特にチュウヤの品はひとつひとつがとても愛らしく美しく可愛らしくて、目が釘付けでした。きっとこの方たちは、尊敬され愛されていたのだろうなあと思いをめぐらせました。最後に展示されていたチュウヤの棺もとても立派でした。

3300年の時を経て、大阪にやってきた秘宝たちは、まばゆいばかりの輝きを放っていました。多少修復などがされているかもしれないけれど、それにしてもこんなに美しいなんて。まるで今この目の前で作りあげられた物が、タイムマシンに乗って一瞬で運ばれたかのような煌きでした。「時間は直線上に並んでいるのではなくて、すべてこの瞬間に折りたたまれている」という話を聞いたことがありますが、まさにそんな錯覚に陥りました。

そして……………、
なんということでしょう！まさか「黄金のマスク」が来ていないだなんて！！てっきり、黄金のマスクも展示されていると思い込んでいました。ポスターの写真はマスクではなくカノポス容器だったのです。でも、マスクはなくても素晴らしい展示でした。いつかエジプトの博物館に観に行きたいものです。

それではみなさま、梅雨のぐずついたお天気まけず、すてき毎日をお過ごしくださいませ。



今年は、天然とは思えないような鮮やかなブルーとパープルのあじさいをみつけました。目が覚めるような強烈に美しい色です。